

## 国民健康保険制度は 望ましいのか？

J. van Mansvelt (オランダ)

本稿には、オランダに、統一的な強制的健康保険制度の採用は望ましいかということが論述されている。

疾病に対する費用では、統一的な強制的保険制度の採用は、オランダの制度に現存する諸問題を解決するのに適切でない。その理由は次に示されるとおりである。

- (a) その制度は保健サービスの消費を促進し、総支出を増大させるだろう。
- (b) また医療の分野において、それは短時間の就労や交替制勤務を促進し、すでに他の部門（たとえば、看護）で問題となっているように、患者にかんする医療上の資料をある担当者から他の担当者に移すのに困難が生ずるだろう。なお、それは医療の質に非人間的な影響を与えるであろうし、しかも、患者と医師の関係を徐々に損なうことになるであろう。
- (c) それは裕富でない人びとよりも優先的な権利を有する人びとにより多くの好都合をもたせるようになるし、また、現在の保健制度に存在していないある型の実質的な差別をもたらすであろう。

現行制度に固有な欠点のすべてに対して、万能薬もしくは包括的な治療はなんら存在しないという事実について、多数の事情通はすでに気づいている。現

在の仕組みに存在する管理上の諸問題のうち大部分の問題に対する解決は、保健の分野に働らく人びとの精神的な心構えとともに、すべての訓練と組織における患者の精神的な心構えに、まず変化を求める。大衆が医学や治療の目的や可能性について知らされる方法は、急速に変る筈がない。

Tijdschrift voor Sociale Geneeskunde, No. 9, 1974, pp.302—306,  
328 ; No. 24, '74 / 75.

## 医師の状況

R. Piaty, F. Daume, G. Lechner, L. Bischof, K. Winkler

(オーストリア)

本稿は第50回医師会議に提出された報告で、オーストリアにおける医師と医療の状況が詳述されている。

医師の立場は将来の医学の発達と社会的変化の双方によって影響をうける。多くの研究は紀元2000年には約50%以上の医師が必要であろうということを示している。現在、オーストリア人の95%は公的な社会保険でカバーされており、多数の医師は今日の傾向が示している中央集権化の方向に反対している。医師達は疾病金庫の各機関に共同の決定権を要求している。かれらはより多くの所得を得るために、より一層魅力的な医学的専門職の立場を求めている。さらに、かれらは医療の診療活動にかんする組織的な形（グループ診療、設備共同管理など）を通じて、かれらの仕事が合理化されることを望んでいる。また、かれらは継続的なより一層多くの医学的訓練の必要を強調している。かれらは近代的な保健政策と社会政策にかんする医師の見解について、なんらかの包括的な概念の欠除を指摘している。